

阿寒湖

生態系

阿寒湖は、阿寒摩周国立公園内で3番目に大きな湖です。ラムサール条約で、「国際的に重要な湿地」に指定されています。阿寒湖は、マリモという、最大で30センチの球形に育つ珍しい淡水藻の自然生育地です。「阿寒湖のマリモ」は、国の特別天然記念物に指定されていて、湖から採取することはおろか触ることも禁止されています。チュウレイ島にあるマリモ展示観察センターでは、この神秘的な生命体について、さらに学ぶことができます。この島へは、観光船で行けます。

また、阿寒湖には、イトウやヒメマスという、大きな淡水魚がいます。一方、特定外来生物のウチダザリガニが定着しているという残念な事実もあります。ウチダザリガニは在来のザリガニと競合し絶滅に追い込み、希少な貝や水草を捕食してしまいます。阿寒湖ではウチダザリガニの漁が行われています。

阿寒湖を取り囲む、自生のエゾマツやトドマツの深い森には、ヒグマ、エゾシカ、クマゲラ、オジロワシ、その他たくさんの野生動物が生息しています。

楽しみ方

10月頃には、森は鮮やかな紅葉で赤く染まります。冬には、湖が凍結し、氷の上を歩くことができます。阿寒湖畔エコミュージアムセンターで、スノーシューを借りることができます。1月になると、ワカサギ釣りや、スノーモービルといったアクティビティも楽しめます。